

2019年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議事録

日時：2019年5月13日（月）16時00分～17時30分

場所：仙台管区気象台第1会議室

出席：山里、青木、山崎、折坂、杉山、佐藤、加藤、谷田貝、福田（以上理事）、岩井（会計監査）、岩淵、淵上、中川（以上幹事）（敬称略）

司会：加藤理事

支部長挨拶：青木支部長代理から理事会開催の挨拶

議題1. 新支部長・常任理事・会計監査の互選

事務局案のとおり承認した。

- ・新支部長からの挨拶（次号の支部だよりで掲載予定）

議題2. 事業等の担当理事の選任

事務局案のとおり承認した。

議題3. 2018年度事業報告及び会計報告

1 2018年度事業報告

議案のとおり承認した。

2 2018年度会計報告

議案のとおり承認した。

- ・支部気象講演会の経費の額が他支部に比べて大きいという話を聞いたが、昨年度に何か大きく経費がかかっているものがあれば教えていただきたい。
- ・昨年度は、経費内訳のうち最も大きいのが広報費（ポスター・チラシ印刷）で、14万円程度となっている。その他は、講師の旅費は併せて4万円程度、会場使用料は1万5千円程度、また昨年度に限り、会場等の都合により液晶プロジェクターをレンタルしており、この経費は1万8千円程度である。
- ・広報費が大きいようだが、その一方で会場がほぼ満員の来場者（80名）という結果にも結び付いていると思われる。
- ・謝金は発生していないのか。
- ・昨年度の講師お二人には辞退いただいている。
- ・例年、これまでも予算額として25万円程度計上しており、この範囲内に収まっているもので、昨年度だけ額が大きかったというものではない。
- ・今後に向けて、支部としてこれまでの予算額の妥当性と、運営方針（広報費を削減するかなど）について改めて確認、検討するということとしたい。

議題4. 2018年度会計監査報告

議案のとおり承認した。

議題5. 2019年度事業計画及び予算案

1 2019年度事業計画

議案のとおり承認した。

1) 東北支部気象講演会

- ・講演2題を計画している。一つは災害を引き起こす集中豪雨についての講演、もう一つは気候変動の漁業資源への影響の講演であり、共に一般の関心は高い話題と考えられる。
- ・今回の気象講演会のテーマ（全体テーマ）について、アイデア等助言があればいただきたい。
- ・テーマとして2つの講演をスマートに結びつけるのではなく、別々のものとして並べても違和感はないと思う。
- ・温暖化の進行により、豪雨等の頻度が大きくなるということもあり、上手く結びつけられるのではないか。
- ・温暖化をキーワードにすれば如何か。一般の興味を引く事項でもある。
- ・“豪雨”、“温暖化”というのは学生に対しても興味を引く事項と思われる。
- ・司会と共に2つの講演をつなぐ話を谷田貝理事からしていただくということも検討したい。講演会を弘前大学理工学研究科が共催している場合は会場費が無料ということもあり、(弘前大学理工学研究科の)関わりを明確にしておきたい。
- ・時期は12月初め(12/7)でも問題ないか。
- ・場合によっては既に雪が積もっている懸念もあるが、特に問題は無い。

5) 支部強化基金による活動(気象サイエンスカフェ東北)

- ・たまきさんサロンで開催する場合、休日でも実施可能なのか。
- ・可能である。土曜日の開催を検討している。

2 2019年度予算案

議案のとおり承認した。

- ・支部研究会は、昨年度は秋季大会と重なったため実施しなかったとのことだが、一昨年度の経費はどの程度か。
- ・9万円程度である。主なものは学生や研究を本分としない発表者(学会員)への旅費補助である。

議題6. 検討事項

1 支部研究会における支部長賞について(別紙)

- ・副賞の5千円は学生等にはある程度の価値があるように思うが、社会人にはあまり意味がないように思う。
- ・この取組は若手をエンカレッジする意味が大きいのではないか。そのような意図であれば(ベテランだけが選ばれるようなこと等を避けるために)方向性を明確に示した方が良い。
- ・エントリー制にし、発表者が申し込む際に受賞対象となることを希望する場合はその旨明記するようにすれば良い。
- ・「支部長賞」ではなく「研究発表賞」、「支部発表賞」などとするのが趣旨からして妥当である。
- ・表彰の対象は研究内容か、それとも発表の仕方か。
- ・両方である。
- ・投票の際は発表者・タイトルのリストを作成、配布し、その中から選んでいただくことを検討している。
- ・研究会で発表するのは支部会員のみか。
- ・気象台職員の場合、支部会員以外の発表もあり得る。
- ・学生の場合も会員以外が発表する場合がある。
- ・受賞対象者は支部会員とする方針が妥当と思われる。
- ・予報士会からの発表者などは居るか。そのような機会も増えると良いと思う。
- ・気象台職員や学生、気象関連の業種に勤めている方以外では、今のところ居ない。
- ・選考に際しては、投票結果以外の選考基準もあるのか。また、投票結果は公表されるのか。

- ・札幌支部の方針を参考にすると、投票結果は公表しない方針で如何か。推薦委員会での検討は受賞者（2名程度）を2名とするか3名とするか等が主なものとなる。
- ・後日、本日の検討結果を基に支部細則改定案を役員に照会するので、検討いただきたい（書面開催による臨時理事会とする予定）。

議題7. その他

1 事務局から

- ・前回理事会で報告した消費税変更に伴うJR等の運賃値上げ（2014. 4. 1）が、平成26年度第2回支部理事会（2015. 3. 12）以降、議案書掲載の理事会出席旅費に反映されていなかった件について、今年3月中に全ての対象者と連絡を取り、不足分の支払いを実施、完了した。この支出は今年度会計として扱い、会計監査等受けることとする。

以上